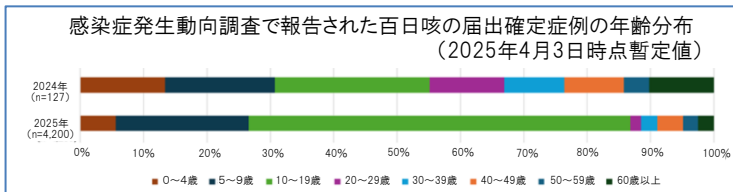
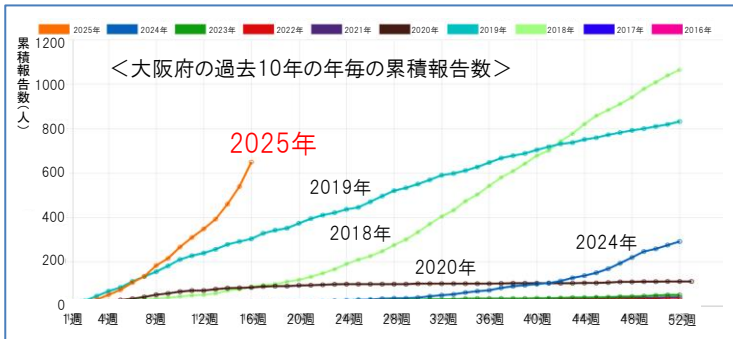
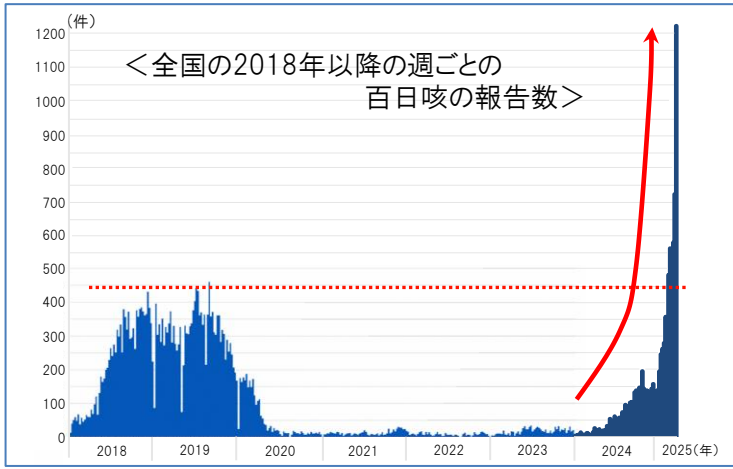


新・こどもと健康

No.100

2025.5.1

百日咳が大流行目前



＜はじめに＞百日咳が大流行しそうです。全国の医療機関から報告された週毎の患者数は現在の方法で記録を取り始めた2018年以降、2025年4月7日からの週はこれまでで最多の1,222件(速報値)になりました。コロナ禍で一度激減していましたが、一気に広がってきました。大阪府で4月7日からの週は57件で、翌4月14日からの週は同110件、大阪府の2025年第1週から第16週(4月14日の週末)までの累計は649件です。グラフで勢いよく増えてきているのが分かります。

＜世界的流行＞新型コロナウイルス感染症に対する公衆衛生対策が緩和されて以降、欧州連合(EU)/欧州経済領域(EEA)やアメリカ、中国では2023年から2024年にかけて急増していました。日本、韓国でも2024年から増え始めていました。基本再生産数(その感染症に免疫を持たない集団において、1人の感染者が感染させる平均人数)は麻しんと同じ16～21であり、免疫がないとどんどん広がります。

＜原因＞百日咳菌かパラ百日咳菌です。

＜感染経路＞主に飛沫感染と接触感染で、アルコール消毒が効きます。

＜好発年齢＞いずれの年齢もかかります。予防接種の効果が薄れてくる4～5歳頃からの小児が中心ですが、大人もとときどきあります。

す。上表の2025年の罹患年齢分布図では、10～19歳が一番多く、5～9歳が続いています。

＜百日咳の恐ろしさ＞日本で1950年のワクチン開始以前には年間10万人以上が罹患、その約10%が死亡していました。1992～1994年のアメリカの調査によると、致死率は全年齢児で0.2%、6か月未満児で0.6%とされました(麻しんは0.1%といわれており、致死率からみると麻しんより怖いといえます)。乳児期早期からかかる可能性があり、死亡者の大半は1歳未満、特に6か月未満の乳児です。定期の五種混合ワクチンは生後2か月から接種可能ですので、対象なら速やかに接種してください。

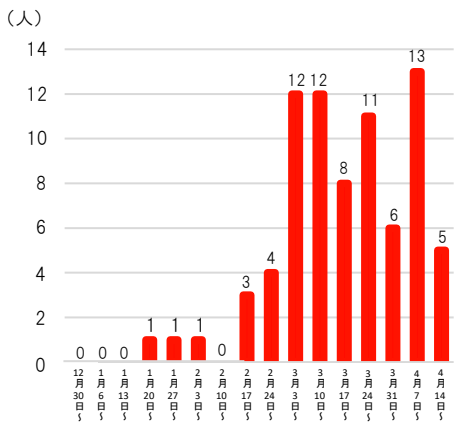
＜検査＞日本ではLAMP法という遺伝子検査が、最近では抗原キットでの検査が多いと思われます。

＜治療＞通常マクロライド系抗菌薬が用いられますが、ある程度早期に開始する必要があります。また、最近耐性株が問題になってきており、その場合はST合剤の選択も考えます。

＜予防接種＞日本小児科学会は以前から、小学校入学前及び11～13歳未満の二種混合ワクチンの代わりに三種混合を推奨してきましたが、任意接種のままです。定期接種になってもらいたいものです。因みに中国は6歳児の定期の二種混合を三種混合に変更することを決定しました。日本産婦人科学会は妊婦や新生児に接触する医療従事者への三種混合ワクチン接種を推奨しました。

＜届出や学校保健法＞百日咳を診断した医師は届け出る義務があります。学校保健法での自宅療養の解除は特有の咳が消失するか、5日間の適正な抗菌薬による治療が終了する必要があります。

出典: JIHS(国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト) HP『感染症発生動向 週報(IDWR)2024年第1週～2025年第15週 全数把握疾患、報告数』、同『百日咳の発生状況について(2025年4月22日時点)』、同『全数報告サーベイランスによる国内の百日咳報告患者の疫学(更新情報)ー2023年疫学週第1週～第52週ー2024年1月5日現在(掲載日:2025年1月9日)』、日本産科婦人科学会HP『乳児の百日咳予防を目的とした百日咳ワクチンの母子免疫と医療従事者への接種について(2025年4月25日)』



出典:『感染症発生動向 週報 (IDWR) 2025年第1週～第16週 全数把握疾患、報告数』

麻疹のその後

3月以降の麻疹の報告は、爆発的には増えないものの、毎週続いており、国内で累計78例となっています(大阪市の発表、左の合計とは異なります)。大阪府では2025年に入って4月20日までで累計13例です。

大阪府に関係する最新の症例では4月9日発症の10歳未満・女性(ワクチン歴なし、渡航歴なし)の接触者(10歳代・男性、ワクチン歴なし、渡航歴なし)が4月20日に麻疹を発症したと報道発表がありました。この男性は4月19日(土)に阪急オアシス神崎川店、20日(日)にスシロー三津屋店を利用しており、注意喚起がなされました。

出典:大阪府HP『報道発表資料 麻疹患者発生に伴う注意喚起について(2025年4月14日)』、同『報道発表資料 麻疹患者発生に伴う注意喚起について(2025年4月23日)』

麻疹風しん(MR)ワクチン不足に伴い、I期・II期・風しん第5期定期接種で迎えたはずの令和7年3月末までの期限は2年延長可能

当科の診療時間帯

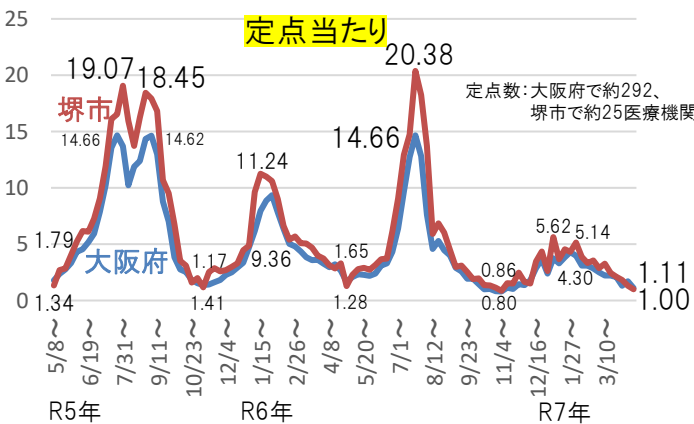
2025年5月の診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00～ 9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
9:30～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

新型コロナウイルス感染症の流行なし



新型コロナウイルス感染症の定点報告数

大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	
85.5/8~	515	39	11/6~	414	34	4/29~	501	37
5/15~	686	78	11/13~	429	73	5/6~	631	66
5/22~	797	82	11/20~	493	83	5/13~	704	81
5/29~	968	117	11/27~	558	75	5/20~	692	84
6/5~	1255	152	12/4~	695	78	5/27~	664	79
6/12~	1324	179	12/11~	763	87	6/3~	724	92
6/19~	1506	177	12/18~	893	96	6/10~	943	106
6/26~	1754	211	12/25~	1026	129	6/17~	1001	108
7/3~	2330	263	1/1~	1444	141	6/24~	1320	178
7/10~	3036	346	1/8~	1891	279	7/1~	1951	263
7/17~	4028	467	1/15~	2436	326	7/8~	2943	375
7/24~	4399	480	1/22~	2718	319	7/15~	3892	428
7/31~	4093	534	1/29~	2863	307	7/22~	4486	591
8/7~	3078	446	1/29~	2863	307	7/29~	3924	529
8/14~	3576	384	2/5~	2400	261	8/5~	2329	398
8/21~	3744	455	2/12~	1958	192	8/12~	1403	171
8/28~	4361	535	2/19~	1540	157	8/19~	1620	199
9/4~	4458	520	2/26~	1470	165	8/26~	1368	175
9/11~	3961	488	3/4~	1333	148	9/2~	1231	130
9/18~	2677	310	3/11~	1181	147	9/9~	890	87
9/25~	2148	276	3/18~	1101	136	9/16~	791	90
10/2~	1179	196	3/25~	1106	115	9/23~	591	73
10/9~	849	102	4/1~	992	108	9/30~	592	55
10/16~	771	90	4/8~	900	91	10/7~	440	57
10/23~	555	46	4/15~	974	82	10/14~	310	40
10/30~	471	58	4/22~	807	96	10/21~	318	39

新型コロナウイルスの定点報告は令和7年1月から2月にかけて小流行ののち、低下していき、4月14日から20日の週は大阪府で1.11、堺市で1.00でした。

出典:大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況2023年 第19週～2025年 第16週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率			
R6.10/28~	7	0	0%	12/30~	3	0	0%	3/3~	15	4	27%
11/4~	7	0	0%	R7.1/6~	15	1	7%	3/10~	13	2	15%
11/11~	10	1	10%	1/13~	13	1	8%	3/17~	7	0	0%
11/18~	5	0	0%	1/20~	4	0	0%	3/24~	2	0	0%
11/25~	7	1	14%	1/27~	16	0	0%	3/31~	3	0	0%
12/2~	23	0	0%	2/3~	15	2	13%	4/7~	4	0	0%
12/9~	13	0	0%	2/10~	14	1	7%	4/14~	1	0	0%
12/16~	11	0	0%	2/17~	6	1	17%	4/21~	2	0	0%
12/23~	19	1	5%	2/24~	7	3	43%				

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、みなし陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)÷(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。3月には6人の陽性の方がいました。4月1日から26日の期間に陽性の方はおられませんでした。

5月・担当医の変更

10日(土) 片桐→赤澤
24日(土) 片桐→赤澤
17日(土) 片桐→赤澤
31日(土) 片桐→赤澤

ゴールデンウィークは暦通りです。